

# 教育委員会

## コラム Vol.13

### 教育長室の窓から

#### 積極的に放っておく



昨年開催された肝付町PTA研修会において、スクールカウンセラーの先生のご講演がありました。演題は「カウンセリングを通して見えてくる子育てのヒント」でした。講演をお聞きしながら、私のこれまでの教員としての在り方や自身の子育てなど、反省させられることばかりでした。一部を紹介いたしますので参考にいただければ幸いです。

#### ▷心をたくましく育てるには

子どもの問題に親がどこまで手を出して解決へ導くには、子どもの世界との距離感が大切になります。子どもが何かに傷ついたり、つまずいたり、失敗したりする姿を見ることは親としては辛いものです。しかし、子どもはそのような体験をしなければ成長しない。よっぽどのことでなければ、距離感を持って「あなたなら大丈夫」と信じて見守る姿勢が基本です。ただし常に「気にしているよ」というメッセージを送ることが大切です。一言で言えば、「積極的に放っておく」ことだそうです。

#### ▷子どもが悩みを持っている時の接し方

子どもの悩みに対して、過剰な心配はかえって子どもの不安をあおってしまうことも。子どもの変化を感じた時の声掛けが大切になります。子どもの気持ちをしっかり聴き、受け止める（受容。共感）とともに、どのような対応をしたのかも聴くことです。子どもは、親が自分のことで何かに悩んでいる、分かってくれていることを実感できるだけで頑張れることもあるそうです。

先生の話は、子育てのヒントを得るとともに、大人の世界にもあてはまるのではないかと思います。日々の生活の中にある子どもとの接し方、人との接し方、大切なことです。

#### 教育長の

#### ちょっといい話

#### 日本最南端古墳群キャラクター

#### 「ロマント君」「とうじん丸」「つかじい」

ある日、歴史民俗資料館の職員の方が、「しおり」を作っていました。何かと思いのぞいて見ると、「つかじい」のしおりでした。私は初めて聞く名前ですが、皆さんはご存知でしたか。実は、大崎町、東串良町、肝付町にはそれぞれ「ロマント君」「とうじん丸」「つかじい」という古墳のイメージキャラクターがいます。

ロマント君は、大崎町にある「横瀬古墳」のキャラクターです。

田園地帯をイメージしたチェック模様のマントを羽織り、首には出土した円筒埴輪を下げています。

とうじん丸は、東串良町にある「唐仁古墳群」のキャラクターです。鹿児島県内で最大かつ九州で3位の大きさを誇る古墳にふさわしく、どっしりとしたキャラクターで、首には大塚神社の鳥居がついています。

つかじいは、肝付町にある「塚崎古墳群」のキャラクターです。日本最南端の前方後円墳である塚崎51号墳をモチーフにしており、手に天然記念物の塚崎のクスを持ち、服の柄は地下式横穴墓にあるL字型の墓穴をイメージしています。肝付町の学芸員に、「なぜ、肝付町だけじいさんか」と聞きましたら、一番古い古墳だからだそうです。納得しました。

「古墳時代の肝付（故郷）は、どんなだったのか」古墳時代を想像してみてもいいかもしれません。



肝付町塚崎古墳群の「つかじい」

大崎町横瀬古墳の「ロマント君」

東串良町唐仁古墳群の「とうじん丸」